

障がいを持つ人も持たない人も共に生きる。

# いきいき村から

いきいき牧場全景



社会福祉法人いきいき牧場広報誌

NO.57

(平成29年12月19日発行)

元気で楽しいいきいき村をつくろう——2人の男が、そう誓い合った。いきいき牧場の新しい理事長・岩根多喜男と、後援会いきいき村の代表幹事・熊谷峰男だ。シンプルだが、壮大な理想だ。宮澤賢治は「まことの幸福」という言葉を残した（農民芸術概論）。いきいき牧場を立ち上げた馬場勝彦さんは、牧場開設前夜、「幻の村じゃない。イーハトーボの本当の村づくりを」と誓った（93年春「いきいき村から」創刊準備号）。

長い時間が流れ、法人は来年10月、設立25周年を迎える。その大きな節目を前に2人の男は馬場さんの夢の続きを熱く語る。 ■対談収録：平成29年11月24日、風の館



岩根さん（左）と熊谷さんの対談、楽しそうに話が弾んだが、時に緊張したやり取りも。

## 来年10月の25周年を前に

**岩根** 馬場さんが目指したのは「いきいき村」という村づくり！施設をつくって終わりとは全く考えていなかった。誰もが年をとれば様々な障がいが出てくる、知的障がいだ、精神障がいだ、といった区分はそんなに意味ないんじゃないか、と馬場さんは考えていた。実際には、まずのびやか丸（精神障がい者施設、平成6年オープン）をつくり、1年後に元気丸（知的障がい者施設、同7年オープン）を立ち上げたわけだが、いろんな施設を集めた村のイメージだった。いきいき村に来れば、誰にも居場所がある

よ、と。でも、5年10年と時間が経つうちにいつの間にか施設の運営が大事になってしまったというか、福祉施設化してきたという反省がある。いろんな事情があったからだが、いま改めて次代の職員を育てていくことが大切だと思っている。波長の合う仲間や職員たちとのめぐりあいの中で、いきいき村の一体的な運営を、いい村づくりを目指していけるのではないかな。

**熊谷** 職員の元気が一番。職員がいきいきと働かない限り、メンバーさん（土の村民）も元気にならない。仕事

元気で楽しい  
「いきいき村」をつくろう  
——  
岩根・熊谷対談で原点確認

が楽しくないと、いいアイデアも出ない。馬場さんが亡くなったあたりからかな、職員の皆さん、緊張感いっぱいという感じで……。もっと肩の力を抜いて、ぼわーんとした雰囲気が出てくるといいよね。後援会は、そうなるような応援団になりたいね。ここが出来たころは誰が職員で誰が何だというのが分からないようなところもあったような気がするけど。

岩根 いきいき牧場をつくら

うと皆で言い出したころ、ちょっとしたことで馬場さんによく褒められた。励まされながらやって来た、という経験がある。いま、私が職員にいつも励ましの言葉をかけているかという、これ、な



かなかやり切れていないなあー。法で定められた分野以外のことや行政の評価外のところでも職員を励ますことが必要なんだろうなという気がする。

熊谷 秋山ちえ子村長（平成28年4月6日ご逝去）が80歳を過ぎてからも「私だって褒められること大好き。褒められるとうれしいのよ」とおっしゃっていたのを思い出す。誰か1人でもいいから自分の味方になって励ましてくれる人がいれば頑張れるのよ、と。とても印象に残っている。そういうのが人を応援する一番のやり方かなと思う。

岩根 最初のころ（盛岡市民バンク付属農園として浅岸に旧いきいき牧場を拓いた昭和56年）と比べると、法整備を含めて福祉を取り巻く環境が大きく変わってきた。そんな中で村づくりと施設づくりをどこで融合させていくかが見えにくい時代になってきた。

熊谷 だからこそ、いきいき村らしさを出してほしいわけ。出したいんだよね。この風の館だって、福祉法人にはあまり例のない施設だよ。風の村民の皆さんによる応援は、どこの法人にも負けないよ。そういう応援をいただいている組織だから、もっと自由にできないものか、と岩根さんにいつも言っている。

岩根 風の館の活用は本当に大事だと思う。今春、理事にお招きした下長根さん（正則・法人事務局長兼元気丸施設長、元盛岡市社会福祉事業団常務理事）にも「もったいないよ」って言われた。風の館は、秋山村長をはじめとした後援会で建設してもらって寄贈を受けたのだが、それを（経営的に）体力がある元気丸の附属施設として活用していこうと理事会で決めた。そうは言っても最初のうちは後援会でつくっ

てくれた建物だという意識があったけれど、いったん元気丸の所属になったら元気丸の方で活用すべきだという意見が当然出てきて、元気丸の第2収容施設になっていった。交流施設としての使い方は崩れてしまった。もう一回、理事会みんなで知恵を出し合って考えていきたい。

熊谷 当初はいろんな活用が考えられていたし、実際いろんな使われ方をしていた。

岩根 馬場さんは、ここでレストランをやろうとしたんだよ。パンも焼いた。永六輔さん（いきいき村応援団長、平成28年7月7日ご逝去）の嘶のコンサートや秋山さんとの夕涼みコンサートなどもやった。このバルコニーには銀河鉄道がレンガで描かれているんだよ、知ってる？

熊谷 いきいき村のまつりも

前は春・秋の年2回だった。職員の負担などを考慮して春だけになったようだけれど、1回は後援会でやらせてもらうということも検討してよいかも。土の村民の皆さんがすごく喜んでくださるじゃない。皆、元気になるもの。それと、もう一つ、地元の人に頼んでいるのは地域伝承活動、踊りとか太鼓とか神楽とか、ここでやらせたら地域との一体感が盛り上がるよね。



岩根 風の館を地域の人たちに開放することを考えたい。また、後援会組織の拡大も必要だと考えている（ピーク時は、秋山さんの尽力もあって東京後援会的な会員を含めて1,000人を超した風の村民が、現在は300人弱となっているのが実情）。

熊谷 風の村民が減っているのは広報の力が足りないからだと思っている。広報誌「いきいき村から」で風の村民の皆さんにメッセージを送ろう。

岩根 そうだね、風の村民をもっと大切にしていこう。後援会の大事さを忘れてはいけない。少し若返りを図った理事会と、これから増強される後援会が協力していろいろなアクションを起こそう！

2人は中学時代からの幼馴染みだそう。本音トークというか、言いたい放題？ さあ、あとは実行あるのみ。皆で元気に楽しくやりましょう。（司会）



## 3人の新理事を登用

6月15日の評議員会で新しい理事会メンバーが選任されました。新顔は3人、写真左から法両誠、山屋理恵、田中信明です。一足早く4月1日付で法人事務局長兼元気丸施設長に採用されていた下長根正則、同じく4月1日付で3代目理事長に就任した岩根多喜男のほか、再任の熊谷次子（元気丸家族会事務局長）、藤澤由蔵（盛岡市議会議員）、宮川康一（株式会社エフエム岩手専務取締役）を含めて8人体制です。岩根は新理事会で改めて理事長に選任されました。引き続きのびやか丸施設長兼務です。任期は全員、平成29年6月15日から平成31年6月開催の定時評議員会終了時まで。

### 新任理事のごあいさつ

#### 法両 誠

職員時代の経験を活かし、社会福祉法人運営にお役立ちが出来るよう真摯に取り組みます。今後ともよろしくお願い致します。

■昭和45年生まれ。東北福祉大学大学院修了。平成8年からいきいき牧場、東北福祉会、麗沢会を経て、平成21年に第一商事株式会社入社。現在、同取締役、株やちだもや代表取締役。

#### 山屋 理恵

会員の皆さま、はじめまして。いきいき村の皆さまの頑張りや活動を大切にしながら、初代理事長の馬場勝彦さまの創立の原点を紡いでいけるよう努力して参ります。ご指導、ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い致します。

■平成16年、全国消費生活相談員協会運営委員。平成23年に特定非営利活動法人インクルいわてを設立。現在、内閣府男女共同参画推進連絡会議有識者委員、盛岡市社会福祉協議会理事。

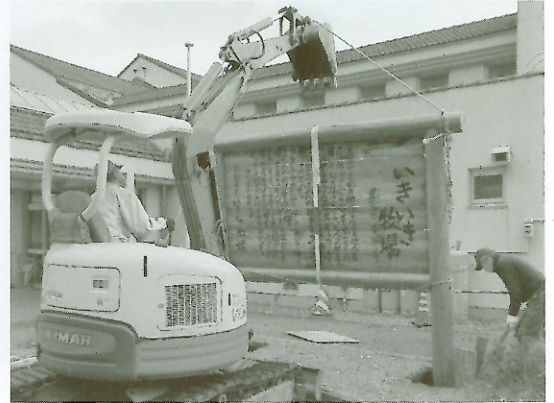
#### 田中 信明

元気で楽しく！ 私のモットーです。取り柄は、声が大きいこと。お節介は、性分ですかね。口が悪いのと口数が多いのは、長年の新聞社勤めのせいでしょうか。常々、岩根多喜男さんの優しさを見倣いたいと思っています。

■昭和24年生まれ。名古屋出身。元読売新聞記者。昭和46年から11年間、盛岡支局勤務。元読売・日本テレビ文化センター社長。RUGBYとお酒、お友達が大好き。二戸在住。

## いきいき牧場建設構想 「夢編」化粧直し

今年度はボランの広場から元気丸作業棟にかけてふたつの改修工事を行いました。ひとつは、馬場勝彦・初代理事長がいきいき牧場創設の際に掲げた建設構想「夢編」の看板改修です。四季を通じて我々を見守り支えてきた自然木の看板だけに改修が必要な状況となっていました。今回は元気丸・のびやか丸で協働して川目の森から木を切り、磨きをかけ、リニューアルしました。



## 法人からのお知らせ

## 元気丸の浴場には リフト設置 乗り心地は良いですよ

もうひとつは、元気丸の利用者の方々のための浴室用リフトの設置です。車いす利用者が増え、利用者本人にも介助の職員にも負担が少なくなるように、との改装でした。リフトの使用開始前に全職員が講習を受け、乗り心地も体験しました。設置後は車いす利用者も安心してお風呂を楽しむことができるようになりました。



## 春まつり、楽しかったよ!

6月24日・ポランの広場



抜けるような青空、雪をかぶったようなヤマボウシ。ポランの広場は300人近い人たちで賑わいました。のびやか丸でつくったリンゴジュースで乾杯! 爽やかなリンゴの風味がうれしいです。関係福祉事業所の皆さんの協力による産直・軽食コーナー、伝承滝ノ下さんさの方々による演舞など、楽しいお祭りとなりました。風の館では、恒例のタンゴアンサンプルのコンサートも。コーヒーの香りに包まれてバイオリンやバンドネオンがホールに響きました。

今回は参加していただけなかった風の村民の皆さま、来年こそお会いできることを心から楽しみにしております。

## 元気丸の仲間は、元気に「いただきます!」

### ◎虹の昼食会



元気丸の保護者の方々に組織する虹の会からの提案で、秋の一日、ポランの広場で初めてのバーベキュー昼食会を開きました。お年を召しても、お肉は大好き。虹の会からプレゼントされた食材で賑やかなホームパーティーができました。自分で肉を焼いたり、ご家族の方に取り分けてもらった肉や野菜をたくさん頂きました。

開放的なポランの広場でのお昼は格別です。当日は後援会会長の熊谷さまにもご協力いただき、大抽選会も。1等は利用者の皆さんが大好きなコーラ1ケース!! 拍手と笑い声が青空に響く楽しいひと時でした。

### ◎カツオ

元気丸では利用者の皆さんが食事を通じて季節を感じられるよう、栄養士を中心に行事食を企画しています。今回は、11月15日、けんじゅう公園を会場にカツオの解体イベントです。元気丸の調理を担当している榎富士産業の皆さんもスタッフとして参加しました。見事な包丁さばきでカツオが刺身に。目を見張る利用者の方々も。カツオ漬け丼を堪能しました。

次の楽しみは来春の初カツオ? それともマグロ?? 皆さんからのリクエストに応えるべく、企画に知恵を絞る今日この頃です。



## のびやか丸のリンゴジュースのお知らせです。 チューリップのお話も。

毎年、多くの方にご好評いただいているリンゴジュースですが、先日、ジュース加工のため工場へのリンゴの納品を終えました。



リンゴを積み、出発を待つトラック

当日の盛岡は快晴、そして最低気温が氷点下5度を下回るとても寒い朝を迎えました。トラック3台、合計4.5tのリンゴは、岩手町にある岩手缶詰の工場へ運ばれ、1万5,000本の缶ジュースに加工されます。

のびやか丸に戻ってくるのは約1か月後…少し寝かせて味を落ち着かせた後、年明けからは、皆さまにご購入いただける予定となっています。

現在のリンゴジュースは白い缶にロゴやイラストがプリントされたもの。でもこの仕様になったのは、実は10年ほど前です。それまでのジュースは、真っ白いままの缶に、のびやか丸の利用者が一

つひとつラベルシールを手作業で貼っていました。

プリント缶になって、それまでお客様からいただいていた「缶ごと氷水に浸けて冷やしたい」というご要望にお応えできるようになったほか、自動販売機での取り扱いも可能になりました。

### リンゴの品種は例年通り、 ふじ・ジョナゴールド・王林の3種類のブレンドです。



のびやか丸の秋は収穫の秋、では終わりません。畑じまいのほか、新年へ向けての大切な秋の作業に利用者の方々は日々取り組んでいます。

その中のひとつがチューリップの栽培開始です。毎年11月に、オランダ産の球根が届きます（注文自体は5月ごろに済ませてあります）。その球根を皮むきし、消毒液に浸け、それからやっと、用意しておいた消毒済みの用土への植え込みを行います。

球根の皮むきは重要な作業です。ここで球根に傷がついてしまうと、発芽し、葉や茎が伸びたときに跡が残ります。そのため、利用者さんは慎重に、小さな球根の薄皮を、一つひとつ丁寧に、でも手早い動きでむいていきます。この15種類、約1万3,500個の球根が成長し、つぼみが色づくのは盛岡が1年で最も寒い時期を迎える2月の中旬の予定です。皆さまに春をお届けできるよう、冬を迎えるいきいき牧場の作業は続いています。



皮をむく前(右)と皮むき後の球根(左)



皮むきは一つひとつ丁寧に



# ご支援に感謝します。

平成29年4月1日～9月30日

順不同 敬称略



## ■後援会費「村民税」ご入金

### 《岩手県》

飯島医院・飯島 仁 伊澤 昌弘 石杜 尚 泉沢 ツネ  
 一條 ユウ 伊藤 一男 (株)井上商店  
 岩手県高等学校教職員組合 岩根 多喜男 上野 静代  
 (株)エヌティイーコンサルタント・田口 敬芳 遠藤 セツ子  
 遠藤 義伸 太田代 恒明 大沼小児科医院・大沼 一夫  
 小田島 百合子 小田中 郁夫 鬼沢 佳子 小野寺 けい子  
 小野寺 純治 小山 涉 (有)角館稲葉設計事務所 角谷 明子  
 (株)向半 (有)鎌田米穀店 軽石 義則 川口 誠一・君子  
 川嶋 雅浩 (株)川徳・川村 宗生  
 神林医院・神林 敦彦・峰子 木影 道子 日下 純男  
 工藤 昭子 熊谷興産(株)・熊谷 永光 栗原 孝子  
 (医)银杏会・小林産婦人科医院  
 (医)あすなろ会・小林小児科クリニック・小林 泰宏  
 小松歯科医院・小松 美津子 昆 茶天 斉藤 武雄  
 斉藤 義幸 坂下 和郎 佐々木 正勝 佐藤 進 佐藤 實  
 (医)白翠会・佐藤誠歯科医院・佐藤 誠 澤村 憲照  
 塩釜馬具店・塩釜 孝 (有)伸栄設備・佐々木 伸吉  
 新興電気(株)・谷上 淳 (有)親和自動車設備工場・荒川 喜彦  
 杉本 節子 鈴木こう門科クリニック・鈴木 俊輔 清雲院  
 關口 覚・せつ子 攝待歯科医院・攝待 成宏  
 外川歯科医院・外川 正 高橋 清実 高橋 タミ子  
 高橋 比奈子 三機商事(株)・高原 三雄 高村 貞男  
 (株)田清水産 田中 信明 玉川木材(株)・玉川 隆子 玉山 哲  
 千葉 知 千葉 静子 (有)テラーロードエム・久保居 光正  
 テクノ(株)・長谷川 修 愛歯科診療所・照井 純  
 (宗)東顕寺・村井 弘典 東北電話(株) 鳥取 和子  
 苫米地 アサ 豊岡司法書士事務所・豊岡 勝  
 (株)トヨタレンタリース岩手 永井 謙一 中澤 美紀子  
 中嶋 宏子 (有)中野設備工業所・吉田 祐一 成ヶ沢 掛子  
 日協メディアファ 野澤 正子 橋場 則雄 長谷川 正  
 畠山 タヨ 畠山 勇一 (株)蜂屋 花田 慶子 馬場 勝行  
 馬場 洋子 樋口 清一 平井医院・平井 博夫  
 (株)姫神設備工業 藤澤 由蔵 藤原 和夫  
 (有)藤原アイスクリーム工場・藤原 誠市  
 (有)双葉モーターズ 前川 貞子 (株)丸江  
 ミート荒川(有)・荒川 博文 宮川 康一  
 (有)宮崎商店・宮崎 健吉 宮杜 牧人 森川 倶志  
 (一財)三田記念病院・森 莊祐 安井 豊

(医)日新堂・八角 有紀 矢羽々 京子 山口 ツエ  
 (株)事務機商事・山崎 清基 山瀬 宗光  
 山田クリニック・山田 行夫  
 山田小児科内科医院・山田 わか子 横沢 きく 横山 隆三  
 吉田 幸助 産科婦人科吉田医院・吉田 耕太郎 米山 幸作  
 (株)わしの尾

《北海道》(医)博愛会・開西病院・細川 吉博

《青森県》高田 富美子

《秋田県》伊藤 ミエ子 松本 るい

《宮城県》

石塚 征子 加藤 秀行 熊谷 友美恵 さとう音楽事務所

《福島県》松永 薫

《東京都》

石井 朝子 石澤 幸子 石田 紀代子 内村 澄子  
 大石 敦子 大島 光恵 小渡 均子 小坂 文乃  
 劇団文化座・佐々木 愛 澤地 久枝 塩澤 昭典 鳥田 爽  
 中村 三千代 舞木 土岐子 増田 正志・名都江  
 美坂 照雄 宮重 英子 柳家 さん喬 山崎 陽子  
 山田 紀子 山田 晴代 余語 悦子

《千葉県》

追川 信子 大河原 幸子 栗原 民子 田辺 聖子

日沢 純子 矢幅 裕司・美代子 山縣 圓

《京都府》渡部 千勢子

《埼玉県》くるみの木ファミリー・金谷 紀子 名和 周治

《群馬県》滝澤 俊幸・由美

《栃木県》倉田 光子 鈴木 恵子 瀧沢 久子

《神奈川県》

よこはまかわをを考える会・磯 ちず子 井上 登紀子  
 太田 美智子 片岡 ふじ子 佐藤 小夜子 瀧沢 恵子  
 平林 泉子

《静岡県》石川 由紀子

《岐阜県》青木 宏達

《兵庫県》美木 陽子 山田 圭子

《大阪府》幸田 ふく子 福島 英子

《愛媛県》井本 ヒロ 渡部 三郎

《山口県》小田 美沙子

《福岡県》桑原 洋子 小森田 啓子 小森田 礼子

《佐賀県》岩永 絹子

《アメリカ》菅原 研・弘子

## ■瓦募金ご寄付

《岩手県》高橋 清実 かすみの会 佐藤 慶博 藤田 優子

《千葉県》大河原 幸子

《東京都》しますえ よしお

※お名前には十分に注意を払っておりますが、もし間違い  
 がありましたら、本誌編集委員会までご連絡ください。  
 次号で訂正させていただきます。

# 風のネットワーク

うれしい励ましをいっぱい頂いております。一部をご紹介します  
させていただきます。6月発行のNo.56以降のお便りです。(敬称略)

■「いきいき村から」と春まつりのご案内をありがとうございます。岩根さんのバトンを受けてのお文、これまでのいきいき村とこれからのいきいき村に感動致しました。馬場さんのはてしなく遠くまで広がっていた「夢編」へ向かって、どうか、ゆっくりと、しっかりと私たちを引っ張って行ってください。「波長の合う人とのめぐり会い」、いい言葉ですね。

(東京都 島田 爽)

■平成13年に見学に行き、岩根さまに案内していただきました。`発展途上の村、新理事長の重責ご苦労様です。実りのある日々ですように。(埼玉県 金谷紀子)

■うの花が咲いています。あふれる緑の中、いきいき村にたくさんの笑顔が咲きますよう願っています。

(大阪府 福島英子)

■広報、楽しみにしております。元気な猫の挿し絵にホッとしております。皆々さまの健康を念じております。

(神奈川県 片岡ふじ子)

■リンゴジュースはおいしく、チューリップは春の訪れ。皆さんがお元気に過ごされますように。

(神奈川県 瀧沢恵子)

■お世話になっております。6月7日、関東地方は、梅雨入りに。あじさいがとってもきれいです。皆さまお体にはくれぐれもお気をつけて下さいませ。

(神奈川県 太田美智子)

■お健やかに日々を過ごされますように！

(東京都 小坂文乃)

■いきいき村の発展と職員のご活躍を心より願っております。

(兵庫県 山田圭子)

■風の村民の御縁が嬉しいです。笑顔一杯ですね。

(千葉県 日沢純子)

■いつも応援しています。

(千葉県 栗原民子)

■今年も村民として納税させていただけることに感謝です。

(兵庫県 美木陽子)

■いつも相模原から応援しています。

(神奈川県 平林泉子)

■いきいき村の皆さまの笑顔がいつそう輝く夏でありますように！

(東京都 山崎陽子)

■がんばって下さい！秋山先生、永さんが逝ってしまったてさびしいです。

(東京都 舞木土岐子)

■今年の夏は暑さが厳しそうです。皆さまお元気にお過ごしでしょうか。いきいき村から届くお便りやリンゴジュースはとても嬉しく、楽しみにしております。

(千葉県 大河原幸子)

■暑い日が続きます。皆さま、どうか御自愛されますように。

(栃木県 倉田光子)

■毎年送って下さるリンゴジュースにいきいき村の皆様のお優しさを感じています。

(佐賀県 岩永絹子)

■皆さまお元気でしょうか。盛夏の候、お身体御自愛下さい。

(栃木県 鈴木恵子)

■リンゴジュース、とてもおいしくいただきました。チューリップも実家に送っていただき、喜ばれました。いつかは家族で春まつりに伺いたいと、毎年思っています。ご盛会をお祈りしています。

(群馬県 滝澤俊幸・由美)

■後期高齢者の仲間入り、いつまで村民税を送れるか少々心配ですが、がんばりたい。皆さまによろしくお伝え下さい。

(神奈川県 井上登紀子)

■さわやかな緑の風の中、お元気で！

(静岡県 石川由紀子)

■おいしいリンゴジュースをいつもありがとうございます。

(東京都 増田正志)

■馬場さん、秋山先生、永さんと、ゆかりの方々が次々と鬼籍に入られ、残念です。

(東京都 増田名都江)

■リンゴジュース、おいしいですね。皆さんのがんばりに私も勇気づけられます。

(神奈川県 佐藤小夜子)

■1年、いろいろありましたが、また風の村民になれること幸せと思います。皆さまお元気で過ごし下さい。

(東京都 内村澄子)

■元気な風をいただいて、今年も元気でござえます。

(奥州市 杉本節子)

■みんなで手をつなぎ、前へ。

(岩手郡 吉田幸助)

■職員の皆さまのファイトで入所者の皆さまの楽しい行事も作業の様子も広報で知らせてもらい、うれしく思います。今年も小さな灯、お手伝い致します。88歳のおばあさん、私も楽しく生きていきます。

(盛岡市 山口ツエ)

■みなさんから元気もらっています。

(盛岡市 田口敬芳)

## あ と が き

今号は、体裁を少し変えました。次号は、がらりとイメージチェンジします。風の村民の皆さまからのご意見、ご要望をお待ちしております。新しい編集委員は、三上陽平、松永和代、米澤弘子、山本円、吉岡哲也、下長根正則、田中信明の7人です。田中が編集長を務めます。どうぞよろしく願います。印刷は杜陵高速印刷株式会社です。